

(様式3)

事業所名 グループホーム風薫

ユニット名 東雲棟・茜棟

作成日: 令和 4年 12月 13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍が長引く中、家族会の中止や面会の規制・制限があり、ご家族と直接話す機会が少ない。施設からのお便り発送時に、ご意向等の返信用紙を同封するが、返信して下さるご家族は少ないのが現状である。	ご利用者、ご家族の思い・意見(意向)を受けとめて、日々の支援につなげる。	・日常でのご利用者との会話を大切に、どのような思いで暮らしているのかを常に意識する。 ・ご家族との電話や会える時には、意向・意見を聞く機会として支援、運営に活かしていく。	3ヶ月
2	11	今年度初めから管理者の異動を含め職員の入れ替わりがあり、業務改善を目的に職員の意見アンケートから多岐にわたり多数の意見が出た。その意見を業務改善及び個々の目標や日々の支援につなげることができていない。	思ったことは自ら発信し、チームで話し合う習慣を作っていく。	・月1回の全体会議では一人一発言を必ずする。 ・定期的な面談や各ユニットで常に情報共有のできる機会を作る等、全ての職員が意見を言いやすく働きやすい環境を作る。	6ヶ月
3	35	定期的な防災訓練と毎月のミニ防災訓練を行っているが、毎回全職員での参加には至っておらず防災意識に個人差がある。また、高齢者施設等業務継続計画(BCP)策定に向けては未着手である。	有事の際は、全職員が迅速且つ的確な行動が執れるようにする。	・現行の定期的な防災訓練・毎月のミニ防災訓練を継続し、全職員が関わりを持つようにする。 ・BCP策定については法人指導の下、自施設に合ったものを作り実践的な訓練へと繋げていく。	12ヶ月
4	53	ご利用者がくつろぐホールに設置しているソファは、施設開所当初からの物で皮面が破れていたり、低すぎて立ちづらいという難点がある。また、ホール・台所・トイレ・居室等が同じ空間にあり居心地が良いとは言い難く、ご利用者がホッとくつろげる場所がない。	ご利用者一人ひとりが安心してホッとできる居場所作りをする。	・ホールにあるソファをご利用者が座りやすく立ち上がりやすい材質と高さの物に替える。 ・各ユニットを離れて一人になれる空間として、玄関のスペースやベランダ・玄関外ポーチを活用しファアや椅子等を設置する。	12ヶ月
5					ヶ月